

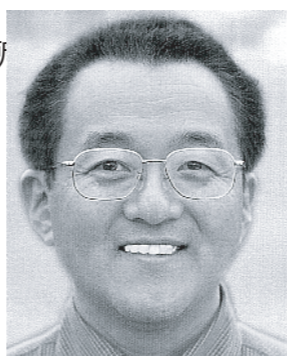
ふじみ野市議会報告 2006. 号外

民主党・市民クラブ所



月刊

発行人 鈴木啓太郎
ふじみ野市上福岡4-12-1-405
TEL & FAX 049-266-7908
連絡先 スペース・ランチ
ふじみ野市上福岡1-12-6
神山ビル3B
TEL & FAX 049-262-1658



<http://www.keitarou.info/>

与党3会派が要望書を提出（8日）

戸丸瑛梨香さんのプール死亡事故に関連して、市議会与党3会派が合同して市当局に要望書を提出した。提出された要望書全文は次のとおり。

市内の公共施設の総点検と安全対策を行うことを求める要望書

このたび、本市の市営流水プールで起きた悲しく痛ましいできごとに、市議会与党議員団といたしまして、重く厳粛に受け止めております。

不幸にして亡くなられた戸丸瑛梨香さんのご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。ご遺族の悲しみはいかばかりかと心痛む思いでございます。

市執行部においては、このたびの事故原因究明は勿論のこと、二度とこのような悲しい事故が起こらないように、市内の公共施設の総点検と安全対策を早急に行なうとともに、総点検で判明した危険箇所については、最優先の予算措置を講じ、速やかに改善を行なうことを要望いたします。

また、全職員に対し危機管理の意義を再認識させるとともに、安全管理を徹底して行なうよう指導することを強く要望いたします。

記

- 1 全ての公共施設における安全確認の総点検
- 2 危険箇所改善のため最優先の予算措置
- 3 職員に対する危機管理体制の強化
- 4 業務委託業者（指定管理含む）の実態把握
- 5 各施設の安全管理体制の明確化

ふじみ野市議会 自由民主クラブ
公明党
民主党、市民クラブ

ふじみ野市長 島田 行雄 様

ふじみ野市大井プール死亡事故調査委員会が発足

真相を明らかにし、再発防止の徹底を！

10日、大井プール死亡事故を主体的に調査する目的で、外部の専門家や市民代表や議員を加えた9名で調査委員会が発足した。第1回目の会議は、本日午後開催される。

市教委では31日の事故直後、捜査当局に協力する一方で、庁内で調査委員会を発足させていたが、第3者を加えて再編成を行ったことを明らかにした。

調査委員会は、必要に応じて職員や受託業者等「関係者」への聞き取り調査、資料の提出を求めることができる。事故の原因究明はもとより、2度とこの様な事故を起こさないようにするために、市の事業の全面的な見直しを行う。

市内5カ所の学校プールにも不備

文科省は、96年から学校及び公

営プールについて、「排水口のふたは2重構造にし、外側をネジ、ボルトで固定」するように通知してきたといわれるが、全国1900カ所で見つかった。市教委によれば、市の学校プール（大井プールをのぞく）18カ所の内、5カ所で同様の不備が見つかったという。

一方のこる13カ所では、ふたはネジ等で固定され、2重構造になつていた。どうしてこの様な差異が生まれたのか。事実の究明が必要である。

議会も独自の検証を

これらの点について、議会としても真相究明、再発防止を徹底して行っていくことがふじみ野市の再生のために肝要だ。

詳しい情報、ご意見は鈴木啓太郎ホームページへアクセスしてください。